

## 議 事 録

会議名	川西市総合教育会議(第2回)		
事務局(担当課)	経営改革課		
開催日時	平成29年2月16日(木) 15時30分から16時30分		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	川西市 大塩市長  川西市教育委員会 牛尾教育長、加藤委員、磯部委員、服部委員、鈴木委員	
	関係職員	松木総合政策部長、中塚こども未来部長、木下教育推進部長	
	事務局	総合政策部行政経営室経営改革課 作田室長、志波課長、山田主事	
傍聴の可否	可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 (1)平成28年度教育施策の成果について (2)平成29年度教育施策について 3 その他		
会議結果			

## 会議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>それではただ今より、第2回川西市総合教育会議を開催させていただきます。会議開催に当たりまして、主宰者であります大塩市長からごあいさつをさせていただきます。</p>
大塩市長	<p>本日は、第2回目の川西市総合教育会議を招集しましたところ、ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>さて、昨年度に当会議を発足し、早いもので2年目を迎えておりますが、本日は、議題にもありますとおり、「平成28年度教育施策の成果」及び「平成29年度教育施策」について、意見交換をさせていただくわけではありますが、教育長をはじめ、教育委員の皆様と教育施策について、それぞれ委員の皆様の立場からご意見を賜りたいと思います。私の教育に対する考えも述べさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いを申しあげます。課題はいろいろとあろうかと思いますが、しっかりと意見交換をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申しあげまして、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>これよりの会議の進行につきましては、大塩市長にお願いしたいと思います。</p> <p>大塩市長、よろしくお願いいたします。</p>
大塩市長	<p>それでは、この後の議事進行は、私の方で進めさせていただきます。</p> <p>まず、議事の1つ目「平成28年度教育施策の成果について」を議題といたします。内容につきましては、教育長からご説明いただきますようお願いいたします。</p>
牛尾教育長	<p>それでは、市長からお話のありました、平成28年度の取組み、教育に係る施政方針について、スライドを通して、ご報告を兼ねて、説明させてもらいたいと思います。</p> <p>市のめざす都市像がございます。「であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」、まさに、市長のお考えを踏まえて、4つのライフテーマを設けて、特に、「生きがい」の分野で9つの政策の中で、「育つ」「学ぶ」分野で教育委員会として取り組んでいるところです。</p> <p>その中で、「生きがい」の方向性として、1つ目の「育つ」。まさに就学前教育を中心とした、子どもたちの育みが1つ。特に、育ち、子育て、たくましい成長。これは、青少年育成を含めてですけれども、こういった視点をもって施策に取り組んでいるところです。</p> <p>2つ目に「学ぶ」という大きな政策の中で、1つは学力の向上。そして、こころの教育・育成。特別支援教育に向けては等しく学べるよう推進していくこと。4つ目に健康のこと。もう1つが教育環境の整備であります。社会教育に向けての市民の学びの向上。ふるさと川西を育む。そういった取組みで市をあげて市民の方々にも発信できるように、こういった文化財保存活用計画を進めているところです。</p> <p>それでは、川西市教育委員会の今年度の理念、地域と人の輪でつくる育ち学び合う教育の推進を進めています。そして、めざす人間像。1つは、ふるさと志向。2つ目に、一人立ちのできる人間になってほしい。3つ目に、生命と人権の尊重。4つ目に、自己研鑽と内外に社会貢献のできる子どもたちの育ちを考えて、めざす人間像</p>

発言者	発言内容等
	<p>をあげています。</p> <p>平成 28 年度の川西の教育のミッション。90 ほどありますが、それに向けて取組みを進めてまいりました。27 年度から今の体制になって、4 つの室、そして 22 の課・館、センター等を含めて取組みを進めているところです。学校現場 24、就学前教育・保育は、私立も入れて 52 の施設を設けて取り組んでいます。留守家庭児童クラブの方は 16 小学校区に、こういったところも含めて、取組みを組織で進めているところです。</p> <p>それでは、施政方針の 1 つ目から、外国語教育。これは、ALT が 8 時間、それから、地域の方の指導支援員に 12 時間もっていただいて、35 時間のうち 20 時間はこのように進めています。6 年生 41 クラス、そして、5 年生 41 クラスがありますけども、82 のクラスの中で取組みを進めて、全クラスに 20 時間程度、ALT と支援員の方に入っていただいて、進めています。あと、3、4 年生にも、年間に 2 時間程度入って、子どもたちの指導支援にあたっているところです。</p> <p>2 つ目に、スクールソーシャルワーカー。今年度から付けていただいて、2 校、川西南中学校と東谷中学校です。来年度、もう 1 校配置をさせていただけたらと思っております。これもスクールソーシャルワーカーが入ることで福祉的な視点が入ると、本人自身だけではなく、実際に生徒指導上の課題を抱えている子どもさんがおられたら、家庭環境の改善等も含めて、スクールソーシャルワーカーとチームを組んで取り組むように進めているところです。</p> <p>それから、きんたくん学びの道場。これは平成 23 年度からスタートしました。そして、現在、全小・中学校で、特に小学校 16 校に配置をさせていただいて取り組んでいます。このようにさらに充実を図ってまいりたいと思います。大学生等の学生ボランティアに入っただいて、家庭教育の改善、学習の習慣化に向けて取組みを続けています。こういったことが、学力・学習状況調査の向上・定着にもつながっていると思います。</p> <p>4 つ目に、里山体験学習の一環でサポーターを養成して、こちらの方の取組みも進めています。</p> <p>次に、校務支援システム。798 台の更新をしました。今年度は特に名簿の管理、出席簿の管理、保健の管理等を中心にして、来年度は成績の管理、通知表や指導要録の管理も含めて、実際にシステムとして導入をして、先生方が子どもたちと関わる時間を増やしていきたいと思っています。</p> <p>6 つ目に、学校図書館の取組みです。中央図書館の学校図書館応援プロジェクトを進めています。学校司書等を対象とした連続講座と研修、リサイクル本の活用、学校司書が選んだ本展等の取組みの中で、学校司書、また、学校図書館活動の充実と司書のスキルアップに努めてまいりたいと思っています。これは、来年度にもつなげていきたいと思っています。</p> <p>それから、社会科副読本。今、編集会議等を設けて平成 29 年度、そして平成 30 年度に社会科副読本小学校版と中学校版を作って、ふるさと教育の充実につなげてまいります。</p> <p>次に、留守家庭児童育成クラブ。今年度は 5 年生、来年度は 6 年生までが対象になります。そういう面では、民間の力も借りながら、また、小学校 3 校、まだ 1 クラスしかクラブが無いですが、3 クラス、複数にできる体制と民間の方の導入も進めてまいりたいと思っています。</p> <p>それから、保育所。特に幼稚園の方では、文科省の指定を受けて、体力づくりに</p>

発言者	発言内容等
大塩市長	<p>ついては取組みを進め、今継続しているところです。保育所の方の4歳、5歳の子どもたちにも講師を招いて、8か所ですね、年2回ですけれども、体力づくりの向上に努めているところです。</p> <p>それから、空調につきましては、平成29年夏には、整備をしていくということで、972教室、特別教室と普通教室等の空調整備もお願いをしているところで、その方向で今進めています。</p> <p>中学校給食も、特に一斉に同時に早期実施、こういったことも含めて、今検討しているところでございます。</p> <p>それから、屋内運動場の天井ですけれども、今年度に16校、来年度8校で、全ての天井の落下防止対策ができます。特にこれは、東日本大震災の時に学校で天井が崩れました。そういうことがあって、今年度と来年度で進めていく。その中でLED照明器具に改善するというのも含めて、取り組んでいるところです。</p> <p>それから、防犯カメラ。学校・幼稚園は入っていますが、各保育所にも2台設置をしました。</p> <p>それから、認定こども園関係ですけれども、東谷中学校区、特に牧の台幼稚園と緑保育所の一体化を進め、認定こども園の整備に、平成30年4月開園に向けて、今取組みを進めています。年次的に計画的に、今後進めてまいりたいと思います。</p> <p>社会教育、黒川公民館、特に、北館を中心にした、あとは公民館活動、ここに教育活動はもとより、多くの市民の方々に、観光的視点も含めて、入っていただくことで、関係部署と整備をして市長のお考えも含めて、今取組みをしているところです。</p> <p>加茂遺跡等の保存活用も計画的に進めてまいりたいと思っています。</p> <p>郷土館の活用ですが、平安邸ですけれども、この位置の土地をいただいて、イベントとか駐車場を含めて、さらに郷土館の活用、そして、来客の方々への支援、そして、より満足していただける取組みができたらと思います。</p> <p>旧平賀邸ですけれども、こちらもいろいろ映画とかですね、マッサン等の連続テレビ等でも本当に脚光を浴びて知名度もあがってまいりました。この改修を進めてまいりたいと思います。</p> <p>子育て支援について、保育料の軽減措置を推進すること。そして、子ども・若者相談窓口。これについてもさらに充実させてまいりたいと思います。</p> <p>最後に、子ども・若者育成支援計画の改定。身近なところの高校生から、3,000通配付して子ども・若者代表で高校生にアンケートを取りました。そのアンケートを基に、来年度、子ども・若者育成支援計画の改定をして、子ども・若者のさらなる育成に向けて、教育委員会としても取組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>この通信は、牧の台と緑保育所の認定こども園通信ですけれども、こういった形で他の分もありますけれども、啓発活動等も含めて、教育活動を今後も努めてまいりたいと思います。</p> <p>以上、平成28年度の実績をご報告させていただきました。いろいろな面で、市長のご支援があったこと。ありがとうございます。今後、平成29年度に向けての取組み、今日お話があらうかと思いますが、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。ただいま、教育長から平成28年度の事業につきまして、ご報告いただいたところでございます。ここで、ご報告いただいたこと、また、それ以外でも結構ですけど、これはもう一つだったとか、これは良かったとか、何かございましたら、意見を交換できたらと思いますが、いかがでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
	<p>では、私から 1、2 点。1 つ、嬉しいことというか、イメージとしては、学力テスト。以前の小学校 6 年生で受けた子が中学校 3 年になった。成績を見ますと、全国ランク的に見ても、6 年生の時に比べたら中学校 3 年が随分良くなっています。これは数字に表れた成果かなと思います。良いことではないのかなとイメージを持ちました。</p> <p>それ以外にも、私も提案させていただいた里山体験事業とか、先輩に学ぼうとか、いろいろと継続事業的にやっていただいておりますけど、それなりの成果が出てきているのではないかと。学力だけではなくて、いろんなところから出てきていると思います。ただ、いろいろな課題もあろうかと思えます。平成 28 年度で挙げました部分でも、何点かやろうとしたことが、いろいろな説明不足でうまくいかなかったところもあったと思いますので、新年度ではしっかりと説明をして、今後どうするのかということも必要かと思えます。</p> <p>それでは、平成 29 年度のことについて、私の方から少し施策についてご説明させていただき、その後、ご意見を賜りたいと思えます。議題の 2、平成 29 年度の教育の施策についてでございます。</p> <p>教育のみではないですけども、第 5 次総合計画の前期実行計画の最終年度ということでございまして、その中の 1 つ、「こころ豊かな子ども育成プロジェクト」というものを掲げているところですが、中身あるものをしっかりと重点化を図りながら進めていきたいと思っておりますので、若干私の方から説明させていただきまます。また、実行していくには、予算がいるところですが、今後、議会の方での予算委員会もございまして、予算委員会の議論を経て、次年度予算が確定することになりますが、現時点におきまして、教育委員の皆様と意見交換したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>まず、小・中学校、特別支援学校及び幼稚園における空調設備の整備でございます。耐震化の次なところが空調整備でございます。快適な学習環境を提供していきたいと思っておりますので、しっかり対応したいと思えます。また、設備が整った以上は、今までどおりの活用の仕方でもいいのか。夏休みを縮めている市もあります。そのようなことを検討していくことも考えられます。</p> <p>次に、子ども・子育て計画に基づきまして、いろいろとハード・ソフトの両面から取り組んでいきたいと思っております。市立の幼稚園と保育所の老朽化、また、そのための耐震化を進めていく必要があると思っておりますので、施設を一体化した認定こども園の整備に向けた取組みを進めていきたいと考えています。既に取り組んでいるところではございますけど、いよいよ今年はスタートしていく年です。具体的には、東谷地区の牧の台幼稚園と緑保育所、南部におきましては加茂幼稚園と加茂保育所の一体化については整備工事を進めていきたいと思っております。そして、川西幼稚園と川西保育所の一体化については施設の設計を予定しています。</p> <p>また、これまでは試行実施としていましたが、子育て支援の充実を図るために、市立幼稚園全園で、教育時間の終了後から園児を一定時間預かる一時預かり保育を本格的に実施したいと考えております。</p> <p>そして、ハード的なこととなりますが、小・中学校の校庭につきましては、かねてから水はけが悪い、雨が降ったらなかなか使えないということがありますので、全てをいっぺんにすることはできませんが、小・中学校各 2 校で改良工事を実施しようと考えています。</p> <p>留守家庭児童育成クラブについては、久代、桜が丘及び清和台南小学校区にお</p>

発言者	発言内容等
	<p>きましてクラブ室を増設したいと思っております、また、早期の待機児童解消に向けて、公設公営の基準を満たしている民間の事業者さんにも協力を求めまして、整備費や運営費などの補助をしながらやっていけたらと思っています。また、それに加えて、学校、家庭、地域の関連性をさらに強化していく必要があると思っていますので、地域住民等が参画する放課後子ども教室との連携を図りながらやっていきたいと考えています。</p> <p>それから、先ほど教育長からのお話にもございましたが、様々な悩みを抱える児童・生徒等をサポートするため、現在2中学校区に配置されているスクールソーシャルワーカーを3中学校区に拡充し、スクールソーシャルワーカーの体制整備を図ろうと考えています。</p> <p>また、赤ちゃんと触れ合い、命の大切さや感謝の気持ちを養っていただくということで、小・中学校の全校において、NPO法人と協働で「赤ちゃん先生プロジェクト」を実施していきたいと考えています。</p> <p>最後に、中学校給食の早期実施ですが、当初の公約にもございました。中学校給食を形のあるものという思いがありまして、平成28年度におきましては、方策を探ったところではございますけども、いろんな問題が出まして、難しいところもいろいろあったと思います。中学校給食は当然だという声もあれば、いろんな意見があるところがございます。費用も随分かかってまいります。必要なのかという声もありますが、中学校給食についてはしっかり公約を守っていくと。ただ、時間的に余裕があるかとなると、あと1、2年の間に完成となると、難しいとは思いますが、私の思いとしては、全校が同時に始められる方法が最も良いのではないかともしましたし、デリバリー方式についても、4,000食を作るというのはなかなか難しいようでございます。自校方式も随分と検討しましたが、一挙に始めるにはいろいろと問題もあろうかと思えますし、施設的になかなか難しいところがあり、センター方式で何とか取り組めないかという思いで、平成29年度はしっかり検討させていただいて、できるだけ早い時期にできるように、道筋はしっかり付けていきたいと思っておりますところでもございます。</p> <p>平成29年度の概略といいますか、予算を付けさせていただいた中で、「こころ豊かな子ども育成プロジェクト」について述べさせていただいたところがございます。もっとこうしたら良いのではないかなど、ご意見を賜ればと思いますので、これから意見交換に入りたいと思います。よろしく願います。いかがでしょうか。</p>
牛尾教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の方からいくつかお話をさせていただきたいと思います。磯部委員からよろしくお願いいたします。</p>
磯部委員	<p>それでは、まず私からは、学校教育の推進の視点から3点お話をいたします。</p> <p>1点目は「空調設備の整備」、2点目は「赤ちゃん先生プロジェクト事業の拡充」、3点目は「スクールソーシャルワーカー設置校区の拡充」についてでございます。</p> <p>1点目の「空調設備の整備」に関しましては、耐震化に続く重要課題の1つとして平成29年度には、全校に設置できるようお取り計らいいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。ご承知の通り、近年、温暖化が進む中、学校現場ではいかに夏場の学習環境を改善し、授業効率を向上させるか、また、児童生徒の体調管理を適切に行うかなどに苦慮しております。</p> <p>本日は耐震化に伴い、先行して空調設備が整備された学校から、空調設備設置</p>

発言者	発言内容等
	<p>後における、学習環境の改善状況と児童生徒の体調管理の視点から、現場の声をお届けしたいと思います。</p> <p>学習環境の改善については、「運動会の練習直後でも、すぐにクールダウンでき、授業に集中することができた。」また、「夏季休業期間中の補充学習において、以前は図書室やパソコンルームなど空調が整っている部屋を交代で使用していたため、教室とは異なり学習に集中できない面があり、教室の割り振りに苦慮していたが、空調設備設置後は、普段の教室で落ち着いて学習に取り組めた。」という声が届いております。</p> <p>また、体調管理の面からは、「運動会の練習が続いても、子どもたちの疲労度は少ないように感じられる。」など、空調設備設置の効果を実感する声が届いております。</p> <p>これらの声にもあります通り、教育委員会では、学習環境の改善においては、猛暑の時期でも集中力アップによる授業効率の向上による学力向上も期待しております。また、児童生徒の体調管理においては、暑さによる食欲低下を防ぎ、体力を保持することや、熱中症予防、さらには、暑さによる心のイラツキを防止し、落ち着いた学校生活を送るなど、様々な効果を期待するとともに、空調設備の整備による効果を最大限に活用できるように努めて参ります。</p> <p>では、2点目の「赤ちゃん先生プロジェクト事業の拡充」について、効果と必要性の視点からお話をいたします。</p> <p>川西の教育の5つの基本方針の中に、「生命の尊さや価値を知り、お互いの存在を認め合い尊重できる豊かな心を育む」という一節があります。この心や態度を育む体験活動で重要な役割を果たしているのが、「赤ちゃん先生プロジェクト」です。</p> <p>川西市の教育がめざすところと方向性を共にする「NPO法人ママの働き方応援隊」との協働事業として、平成25年に1校から始まった取り組みが、平成28年度には12校に広がりを見せています。</p> <p>小学校では2年生を対象に、中学校では発達段階に応じた学年で実施しております。生後3から9カ月の赤ちゃんとお母さんが来校し、机上の学習だけでは学べない「命の大切さ」や「家族の温かさ」を、赤ちゃんや赤ちゃんのお母さんとの触れ合いという実体験を通じて学んでおります。</p> <p>児童生徒は、赤ちゃんの感情表現の仕方が、一人ひとり違うことに最初は戸惑いながらも、お母さんからの話を聴き、また、赤ちゃんの笑顔、泣き声、匂い、柔らかな肌触りなど五感を通して、自然と感情を読み取っていきます。このような触れ合いにより、相手の思いや期待をとらえ、その思いや期待に応じることで喜びを得る「共認回路」が活性化します。そして、人を思いやる心やコミュニケーション能力を育てていくことができます。さらには、「命の尊さ」や相手を認める心、自分を産み育ててくれている家族への感謝の気持ちを育むものとなっていることが、児童生徒の感想からも伝わって参ります。</p> <p>核家族化や少子化が進み一人っ子も多い中、このような感情や心を育む体験活動は大変重要であります。また、平成32年度に改訂される学習指導要領では、子どもたちに身に付けさせたい力の1つとして「感性、思いやり、意欲、多様性を受容する力」を掲げております。「赤ちゃん先生プロジェクト」は、こうした心や能力の醸成につながる体験活動でもあると考えております。</p> <p>平成29年度は「赤ちゃん先生プロジェクト」の効果と必要性を鑑み、全小中学校で実施できるよう事業の拡充を図りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいた</p>

発言者	発言内容等
鈴木委員	<p>します。</p> <p>最後に「スクールソーシャルワーカー設置校区の拡充」について、今年度の活動の成果と今後の課題を踏まえてお話いたします。</p> <p>川西市におきましては、今年度からスクールソーシャルワーカーを1名設置し、東谷中学校区と川西南中学校区の2中学校区に対して週1回、学校や家庭へ訪問できる体制を整えております。また、関西学院大学教育学部の辰巳隆教授をスーパーバイザーとしてお迎えし、月に1度、スクールソーシャルワーカーをはじめ、担当課の職員とともに、個別の案件についての具体的な支援の方法や方針についてご指導を仰ぎ、情報を共有化しております。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの設置以来、多くの相談が寄せられておりますが、特に小学校からの相談の依頼が多く寄せられております。</p> <p>スクールソーシャルワーカーによって、DVや養育困難に悩む母親と信頼関係を築き、福祉機関や親族などからの支援につなげることで、当該児童生徒の生活環境を改善できた事例もあり、成果が上がってきているとの報告を受けております。</p> <p>ご承知の通り、近年、家庭環境に課題のある児童生徒への支援は、当該児童生徒の自尊感情や学習意欲の向上、不登校への対応策にもつながる効果的な支援の一つであり、スクールソーシャルワーカーの活動は、ますます必要とされ、需要は急激に増加しております。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの業務内容は、家庭環境やDV、虐待など、非常に繊細な個人情報に関わるものが多いだけに、対象の児童生徒や保護者、学校との信頼関係を築くことが重要で、そのためには、優秀な人材の確保を含めた、安定した事業の推進が不可欠でございます。</p> <p>そこで、川西市においては、来年度は対象中学校区を1つ増やし、平成31年度までにスクールソーシャルワーカーを、全中学校区へ配置する予定でございます。</p> <p>つきましては、これまでの成果と課題を整理し、より効果的な支援の方法や事業運営等についての研究を深めて参りますので、人件費を含めた近隣市の雇用条件等の動向を見極めながら、優秀な人材の確保と安定した事業の推進にこれからも一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、私からは、学校教育の推進の視点から3点、お話をいたしました。よろしくお願いいたします。</p> <p>平成27年3月に策定されました川西市子ども・子育て計画の基本目標の1つであります、教育・保育・子育て支援サービスの充実について、市長の深いご理解とご支援に感謝いたします。先ほどの市長のお話の繰り返しになりますが、もう一度4点押さえさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、東谷中学校区他2地区での幼保一体化施設の整備に関してでございます。先ほどの市長のご指摘どおり、市立幼稚園・保育所の老朽・耐震化対策、また市立幼稚園の児童数は減少しており、保育所等への入所待機児童数は増加しているという問題を解消するためには、川西市子ども・子育て計画に基づく、市立認定こども園の整備が期待されるところであります。牧の台幼稚園と緑保育所は平成30年、加茂幼稚園と加茂保育所は31年の開園をめざして、整備工事を行います。川西幼稚園と川西保育所の一体化については、施設の設計に取り組みが始まろうとしています。ご支援をありがたく、感謝申し上げます。</p> <p>さらに市立幼稚園全園においての一時預かり保育の実施も次年度から取り掛かる</p>



発言者	発言内容等
服部委員	<p>新たな事業でございます。また、市立留守家庭児童育成クラブの拡充についてですが、平成 29 年度には、小学校 6 年生まで受け入れを拡大することになりますため、ただいま 1 クラブずつであります、久代、桜が丘、清和台南小学校において、新たにそれぞれ 1 クラブずつ育成クラブ室を増設しようとするものです。さらに民間の留守家庭児童育成クラブへの支援につきましても、川西市子ども・子育て計画に基づきまして、公設の設備整備だけでなく、民間事業者による学童保育を取り入れ、早期の待機児童解消に向けて官民連携して取り組みたいと思います。民間活力を導入することによって、保護者の価値判断に即したクラブの選択が可能になるかと思えます。多様化する保護者の要望に対応できることと思えます。それで待機児童数の減少が期待できます。また、民間事業者に参入してきてもらいやすいように公設公営の基準以上に運営されている民間事業者に対し、整備費や運営費などの補助を行います。同様に小規模保育事業を実施する民間事業者についても、公募・選考をいたしまして、施設整備に要する経費の補助を行いたいという考えです。</p> <p>なお、川西市では、地域住民等が参画し、全中学校区で「放課後子ども教室」が展開されておりますが、これをより一層充実させて、留守家庭児童育成クラブとの連携を図ろうとしています。</p> <p>このことは、国が策定した「学校を核とした地域力強化プラン」に呼応し、学校・家庭・地域の協働を強化しようとするものです。</p> <p>今後、地域力を高めていく上で、ますます地域への行政的な支援が必要となりますので、よろしくご配慮くださいますよう、お願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>天然記念物に関連することをお話しさせていただきます。</p> <p>川西市民のふるさと川西意識の向上、あるいは 3 年生の環境体験学習、4 年生の里山体験学習の推進を教育委員会の目標のひとつとして掲げているところです。その目標達成のひとつの手段として、天然記念物指定というものが考えられるのではと思っています。現実に過去 5 年間に 5 件の天然記念物指定を進めてきました。この 5 件の指定というのは他市町に比べて抜群の指定率で、他市ではこのような状況は見られないところです。その結果、子どもたちのふるさと意識、あるいは市民のふるさと意識も向上し、観光での利用も進められているところです。</p> <p>本年も 3 月 28 日に文化財審議会があり、本命の台場クヌギが天然記念物指定されると思っています。他市には見られない迅速な指定であります。今までの指定については市長にお願いしたり思いつきであったりしたことは事実ですので、もう少し系統的、体系的な指定が必要なのではないかと考えております。そこで、兵庫県の自然環境課が作っておりますデータブックに載っている川西市内の重要な自然をもとに将来天然記念物指定の可能性のあるものをリストアップしまして、それを基に先ほど教育委員会に議案として提案し、議決されました。今後はそのリストに基づき、順次指定されていくものと考えられます。</p> <p>天然記念物の指定というのは生涯学習・体験学習に大きな効力を発揮するのと同時に川西市の魅力創造・発信ということと、産業振興、特に観光ということで大きな力を発信するというふうに考えております。</p> <p>例えばエドヒガン回廊としまして、山下から一庫ダムを通りまして、一庫公園、国崎クリーンセンター、能勢町のけやき群落、黒川のエドヒガン、能勢電妙見の森といったようなものを作ることによって、川西の魅力もさらに発信させることができるというよう</p>

発言者	発言内容等
加藤委員	<p>に考えております。</p> <p>天然記念物回廊ということも考えられるのではないかと思います。そういうことで魅力を発信しないとイケませんが、それについてどう広報するか、看板とか予算が必要ですので、ぜひそういうことも考えていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>就学前の待機児童解消に民間活力を注力していきたいと思います。</p> <p>待機児童のカウントに関しては、平成 27 年に就労希望者まで枠を広げまして、300 近くまで増えた時期がありました。29 年 1 月時点では 107 まで落ちているのでかなり成果をあげていると思います。ただ、先ほど言いましたようにカウントする待機児童の定義自体が変わっているの、最初にとったときのデータと比べて多い少ないはあまり測れないと思います。経済状態も変わってきますし、子どもたちを社会で育てるという考えかたもある程度定着してきたこともあります。数自体を比較することに意味はないと思います。その中で効果をあげている市としては、先ほど市長からもありましたように、認定こども園の整備というのがありました。認定こども園の数が増えました。日本全国で認定こども園というものが 23 年には 760 程度だったのが、28 年には 4,000 になっております。阪神地区においても 24 年に伊丹市さんが最初に作ったのがはじまりで、29 年度においてはおそらく 37 くらいまで増えると思います。</p> <p>その中で公立と私立に限って割合を考えますと、28 年の厚労省のデータでも 703 程が公立で、あと 3,298 は私立です。少子化になりますから私立の幼稚園は運営するためにはどれだけ早く囲い込むか、1、2 歳から囲い込むかが課題になります。PR 活動にかなり注力されています。</p> <p>本市においても牧の台とか公営のものでやろうとしていますが、やはり就学前教育というのは民間に頼るところが必ず多くなってくると思います。そうなった時に民間とに連携をとりながら、これから先、就学前教育に注力するかということが大事です。</p> <p>更には公立の幼稚園に関しては今回、就園希望者のデータを教育委員会でも募集しましたところ前年度に比べて 100 人減になります。それが全体の量からいって 20% 減です。これがこの先どのように続くかと言うのは住民基本台帳から起こす事は必要ですし、どのような増減があるか、そういった時にますます民間と連絡をとりながら、認定こども園の整備事業を進めていき、就学前教育に注目していきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
大塩市長	<p>皆様からたくさんの意見をいただきました。いろいろと参考にさせていただきたいと思っております。どちらかといいますと、子どもの教育が主な内容でした。</p> <p>先程の説明の補足をしますと、生涯学習といいますか、地域における活動も非常に重要なことだと思っております。レフネックとか、高齢者大学がありまして。非常に希望者が多いです。アステに移ってから定員も増やしましたが、けっこう増えていきます。そういうことにもしっかり取り組む必要もあるかと思っております。29 年度もしっかりやっていきたいと思っております。</p> <p>ご提案もいただきましたが、郷土館の入り口部分の土地が確保できましたので、それをどう活用していくのかということも取り組んでいきたいです。駐車場という意見もありますが、それだけでは物足りないと思っております。</p>

発言者	発言内容等
	<p>服部委員から天然記念物に関してご教示いただきまして、ありがとうございます。いろいろな意見がありますが、先日キセラ川西にエドヒガンの記念植樹をしました。高さ 10 何メートルほどあります。しっかり根付いてくれることを期待したいと思っています。</p> <p>私も知らなかったのですが、台場クヌギも今度指定されると。これについても日を変えて黒川から移植をしたところでは。</p> <p>幼児期の教育につきましては、いろいろと意見があると思います。今の時代の中で、この時期になると社会問題化していますが、中身も非常に大事だと思います。しっかり取り組んでいくことも大事です。中学校給食もそうですが、親御さんがなかなかそういう期待がない。懸念もありますけど、今の時代でしっかり子どもが成長するなかで対応していかなければならない。幼稚園で早く帰るというよりは、保育所でしっかり預かってほしいという声のほうが大きいわけですから。今回、認定こども園で順次取り組んでまいりますので、その辺は解決が進んでいくと思います。</p> <p>いろいろと意見を賜りましたので、しっかりと活用させていただきたいと思います。</p> <p>それではこれをもちまして第 2 回総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

以下会議の事項を記録し、相違ないことを認めたので、ここに署名いたします。

平成 29 年 3 月 27 日

川 西 市 長

川西市教育長